

よみとりとよむ

ハイレベル
12
よみとりとよむ
「夏の王さま」

今回のおはなし

とんぼ池には、いろいろな とんぼが います。ぼくが ギンヤンマを見つけたと、ひなこは わらって、くるくる 回りました。

そのとき、ふっと あたりが くらくなっ

た。見上げると、高い 空に、ひこうきみたいな てっかい とんぼが うかんで いた。

（王さまだ！ オニヤンマだ！）

ぼくが 心の中 で さげんだ とき、

「王さまだ！ オニヤンマ！」

同じ ことを ひなこが 言った。

ぼくは、あみを つかんで とんだ。

ぶん、と、ヘリコプターのような 音が う

でに つたわり、いっしゅん、体が うかんだ

気が した。

あみの 中に 王さま

が いた。

みどり色の 大きな

目を ぴかぴか 光らせ、

ぼくを 見て いた。

とらみたに りっぱな かたを いからせ

て、黒い 足を がさつと 一回 うこかした。

「……大きいね。鳥みたいに 大きいね。」

ひとり言みたいに ひなこが 言った。

「きれいだねえ。たからものみたいに りっぱ

だね。」



おうちのかたへ 今回のお話を聞いて、登場人物の心情を考えて読む。描かれた事柄から事物の様子を想像する。

1 上の 文しやうを 声に出して 読みま

しょう。

はなまる

2

は、ぼくが 心の中 で さげんだ ことばです。どのように 読むと よいか 考えて、声に出して 読みましよう。

はなまる

3

と ありますが、オニヤンマを つ かまえた しゅんかん、ぼくは どのように かんじましたか。

はなまる

いっしゅん、体がうかんだ気がした。

4

ひなこは、つかまえた オニヤンマの 大きさを どのように かんじましたか。

鳥みたいに大きい。

5

ぼくや ひなこが 見た オニヤンマの 絵を 紙に かいて みましよう。

はなまる

出典 ★ 藤沢のこ作「おはなこ」が、ポプラ社刊より

はなまる

今回の学習のねらい

- 登場人物の心情を考えて読む。
- 描写された事柄から事物の様子を想像する。

支援のポイント

- 「どんな気持ちで読むといいかな？」あるいは「とんぼの王さまを見つけたとき、○○ちゃんならどんな気持ちになるかな。」などと語りかけ、「ひこうきみたいなてっかい とんぼ」を見つけた感動を表現するのにふさわしい読み方を考えてもらいましょう。「心の中で」叫んだという記述から、声を殺すように読んでもよいでしょう。
- ひなこの会話文を見つけて感動を読み取ることがポイントです。「ひこうきみたい」「たからものみたい」と答えた場合は、「ひなこが思ったことが書いてあるところは、ほかにあるよ。」「大きさはどう感じているかな。」と問いかけましょう。
- 問題文の描写から「王さま」であるオニヤンマの姿を絵に描いてみる取り組みです。描く前に「お話では、オニヤンマのことがどんなふうに書いてあるかな？」などと問いかけて、オニヤンマの特徴をとらえさせましょう。お手元に紙を用意してから取り組みてください。

ほめ方のポイント

- 音読の学習では、すすんで工夫して読もうとする態度をまず評価してあげてください。ここでは「王さま」を見つけた喜び、あるいは驚きなどを声で表現することになりますが、「ぼく」の気持ちをお子さまなりに工夫して読んでいると認められれば、「『ぼく』の気持ちを考えて、上手に読めたね。」「王さまを見つけた『ぼく』の気持ちがよくわかる読み方だったよ。」といった言葉でほめてあげましょう。
- 文章から得たイメージを絵で表すことが目的なので、リアルさにこだわらなくてもいいです。問題文には色の記述がありますが、どこが何色なのかはわかっているようなら、単色でもかまいません。

また、例えば「とらみたにりっぱな かなた」を描くために肩を極端に大きくしたり、「たからものみたいに」星を散りばめたりするというように、子どもは印象に残ったことを強調して描く傾向があります。どうしてそのような絵にしたのか、理由を説明してもらったうえで、**お子さま自身のイメージを絵で表現できたことを大いにほめてあげましょう。**